



佐藤会長

## JERコンクリート 補改修協会

マッチングシステ  
ムで連携強化を

JERコンクリート補改修協会は7月30日、神戸市のANAクラウンプラザホテルで総会を開催し、2025年度の事業計画など5つの議案を審議・可決した。

冒頭あいさつで佐藤匡良会長は、「国土強靱化5か年計画では、老朽化施設の調査や点検、耐震補強への対応が進められる。マンホール構造物の補修事業に力を入れるとともに、橋梁や土木施設の耐震補強についても技

術開発・商品化を進める。

若者の建設離れによる人材不足に対しては、省力化・自動化・機械化技術の導入を推進するとともに、会員同士の連携が非常に重要だと考える」と語り、会員間の連携促進を目的に運用している「マッチングシステム」の積極的な活用を呼びかけた。

今年度は、建設業界の人手不足対策として構築した全国的なネットワーク「JERマッチングシステム」の正式運用を開始する。

## JERコンクリート 補改修協会管路部会

新工法開発など独  
自性の追求を

下水道用マンホール更生工法のJERコンクリート補改修協会管路部

会は7月30日、神戸市のANAクラウンプラザホテルで2025年度の総会を開催した。

開会に先立ちあいさつした井上敬介部会長は、「埼玉県八潮市で発生した下水道管の陥没事故を受けて下水道業界全体への注目が一層高まっていると感じる。異業種からの参入も活発で、技術革新も加速しており、当協会にも流れに遅れることのない柔軟かつ迅速な対応が求められている。今年度から新たに加わったジックボードVGI法など、独自性を追求してさらなる発展に努めたい」と決意を述べた。

今年度は、JERコンクリート補改修協会の下水道施設総合カタログで同部会認定工法が一覧できるとする構成するほか、協会広報に関する施工イメージを作成して意識の向上を図る。



井上部会長